

令和7年度 京都府地域クラブ活動セミナー開催しました。

テーマ 部活動地域展開等改革実行期間にむけてこれからどうする
「課題解決に向けた事例から今後の方向性をさぐる」
～ 魅力的なまちづくりへと昇華させるために ～

内容

1 目的 地域スポーツ・文化芸術クラブ活動の在り方について、学校部活動の地域展開等を円滑に進めるための情報を共有し、各地域における子どもたちが真にマイスポーツに親しめる環境づくりと組織的な体制づくりの構築を目指す。

2 主催 京都府 京都府教育委員会 公益財団法人京都府スポーツ協会

3 日時 令和7年9月8日（月） 10時30分～17時00分（受付 10時15分）

4 場所 京都府立京都学・歴彩館 小ホール
全体会、分科会、全体会（シンポジウム、まとめ）
京都府職員研修・研究支援センター 2階大研修室他
分科会

5 対象 各市町村のスポーツ所管課、文化芸術所管課、教育委員会、スポーツ協会、文化芸術協会、（公財）京都府スポーツ協会加盟団体代表、総合型地域スポーツクラブ代表、スポーツ少年団代表、文化芸術団体代表、スポーツ推進委員代表

6 セミナー内容

(1) 開 会 挨拶 京都府教育庁指導部保健体育課課長
(2) 説 明 『令和7年度京都府教育委員会の取り組みについて』
京都府教育庁指導部保健体育課総括指導主事

(3) 講演・分科会等

ア 基調講演 『部活動の地域展開等今後の国の動向について』

講師 スポーツ庁地域スポーツ課 課長補佐 竹河 信裕 氏

イ 事例発表 『奈良市の部活動地域展開を進めるにあたり大切にしていることについて』

講師 奈良市教育委員会学校教育課 課長補佐 中西 利彦 氏

ウ 講演・シンポジウム（運営団体の重要性について）

講演 『部活動地域展開等において「運営団体」を設置する重要性』

講師 神戸親和大学教育学部スポーツ教育学科 教授 松田 雅彦 氏

シンポジウム

コーディネーター

立命館大学スポーツ健康科学部 教授 長積 仁 氏

パネリスト

スポーツ庁地域スポーツ課 課長補佐 竹河 信裕 氏

神戸親和大学教育学部スポーツ教育学科 教授 松田 雅彦 氏

奈良市教育委員会事務局学校教育課 課長補佐 中西 利彦 氏

エ 分科会

分科会Ⅰ 『学校を核とした部活動地域展開のあり方

～生徒が主体的に参画するスポーツ・文化芸術活動の実現に向けて～』

講師 神戸親和大学教育学部スポーツ教育学科 教授 松田 雅彦 氏

分科会Ⅱ 『部活動地域展開等 指導者確保と養成について』

講師 （公財）新潟県スポーツ協会スポーツ推進課 課長 澁谷 健一 氏

分科会Ⅲ 『部活動地域展開等 地域クラブ活動における生徒の移動手段について』

講師 （一社）スポーツリンク白川クラブマネージャー 渡辺 靖代 氏

- (4) ま と め

まとめ及び各分科会の報告
- (5) 閉 会

挨拶 京都府文化生活部スポーツ振興課参事

7 日程表

10:15	10:30	10:35	10:40	11:30	12:00	13:00	13:40	13:55	14:55
歴彩館小ホール					昼休憩	歴彩館小ホール	休憩移動	歴彩館小ホール・職員研修センター	
受付	開会	説明5分	基調講演50分	事例発表30分		講演40分 シンポジウム		分科会①クール 講演・ディスカッション 60分	
14:55		15:10	16:10		16:25	16:55	17:00		
休憩移動	歴彩館小ホール・職員研修センター		休憩移動	歴彩館小ホール					
	分科会②クール 講演・ディスカッション 60分			まとめ・セッション30分		閉会			

参加者概要

参加者属性	参加人数	参加者属性	参加人数
講師	5人	京都府スポーツ協会関係者 (市町体育・スポーツ協会、 競技団体、総合型SC)	16人
京都府地域部活動推進検討委員会	4人	京都府スポーツ推進員	4人
京都府庁関係者	18人	その他団体	6人
教育局関係者	6人	京都市行政関係者	11人
市町（組合）教育委員会関係者	28人	他府県	5人

当日の様子





分科会Ⅰ



分科会Ⅱ



分科会Ⅲ



まとめ



閉会

参加者の感想

- ・今回の研修会を通して、令和8年度からの部活動地域展開の改革実行期間に向けて、行政、競技団体、地域スポーツ協会、教育委員会など、立場の異なる関係者がそれぞれの視点で課題を共有し、解決の方向性を探っていくことが不可欠であると認識した。
- ・奈良市の実践例では、中学校の教育活動としての部活動を地域でどう運営するかにとどまらず、子どもたちが地域社会の中で「いつでも・どこでも・やりたいことができる環境」を整えていく視点が紹介され、大変参考になった。
- ・この取組は、運営団体が果たす役割が重要であることが理解できた。持続可能な地域展開には運営団体の存在が欠かせないと感じた。一方で、その設置の難しさも強く感じた。研修会を重ねる中で、改革を推進する核となるキーパーソンを見つけ、ネットワークを広げていくことの重要性を確認した。
- ・指導者のことを考えることが多いが、運営を支える人材をいかに集め、継続的に活動を補助していくかも課題である。
- ・この改革は、学校、保護者、地域の連携が必要となる。学校が教育活動として大切にしてきた部活動の意義を踏まえつつ、保護者が理解と協力を示し、地域が受け皿として支えることで初めて円滑な活動となる。そのためには、情報共有や意見交換の場を継続的に設けることが重要である。
- ・子どもたちが安心して挑戦できる豊かな活動環境を地域全体で築いていくことが大切であると感じた。
- ・他府県や国の動向について伺った。特に、受益者負担の在り方について理解した。